

## 第 11 回日物応物男女共同参画連絡会 議事メモ

日 時：2017 年 10 月 10 日（火）10:00 ～ 11:40

場 所：日本物理学会 4 階大会議室

出席者：

<日物> 森初果（東大物性研）、板倉明子（物材機構）、小形正男（東大院理）、  
倉本義夫（高エネ研）、笹尾真実子（同志社大）、  
（事務局）根岸正己、宮野佳織、岡村裕子

<応物> 河西奈保子（NTT）、増田淳（産総研）、松木伸行（神奈川大）、庄司一郎（中央大）  
（事務局）白石陽子、塩尻誠子

欠席者：

<日物> 野尻美保子（高エネ研）

### 【議題・報告等】

- 1) 第 10 回議事メモ確認
- 2) Gender summit10（G S）参加報告
- 3) IUPAP ICWIP 参加報告
- 4) IUPAP プロシーディング報告
- 5) 責任者交代の件

議事：

0) 日物・応物両学会出席者の自己紹介がされた。

#### 1) 前回議事録案について

各自で確認をし、修正・追加の必要があれば、事務局まで連絡する。  
後日、日物の HP に掲載する予定である。

#### 2) Gender summit10 参加報告

森責任者から、2017 年 5 月 25～26 日に一橋講堂（東京）において開催された Gender summit 10 について、資料に基づき次のような報告があった。

23 カ国（地域）から 585 名が参加し、口頭発表（招待）77 件、ポスター発表 104 件があり、活発な討論が行われた。特に、プレナリーでは、先導的なプログラム開発研究で著名な盲目の IBM 女性研究員や、インドメトロの建設で活躍する女性技術者などから、インプレッシブな講演が多数あったことが紹介された。日物応物連絡会はパラレルセッション 2 の企画実行、およびサイエンス&テクノロジーの男女共同参画に関する情報を集めたポータル構築（<http://www.jst.go.jp/diversity/gender-summit/link.html>）、日本物理学会の鹿野豊氏はパラレルセッション 5 の企画実行および国連持続可能な開発目標（SDGs）提言ワーキンググループに参画した。日本物理学会・応用物理学会はそれぞれポスター発表を行ったことが報告された。

#### 3) IUPAP ICWIP 参加報告

河西委員・松木委員から、IUPAP ICWIP について、資料に基づき次のような報告があった。

2017 年 7 月 16～20 日（5 日間）にバーミンガム大学（イギリス）で開催され、日物応物連絡会から 4 名が参加した。42 カ国から約 200 名、プレナリー 6 件、カンントリーポスター 42 件、一般ポスター 103 件であったことが報告された。野尻委員がカンントリーポスター発表、遠山委員、松木委員、河西委員がそれぞれサイエンスポスターを発表した。

比較的発展途上国からの参加が多く、英語を母国語としていない国にも配慮が必要ではないかという意見が出た。次回は、3年後にオーストラリア開催予定である。

#### 4) IUPAP プロシーディング報告

河西委員から、資料に基づき次のような報告があった。

野尻委員がカントリーポスター発表で会員の残存率を男女比で比較する結果を発表した。日物は女性の残存率が低く、応物は男女が同率で残っている傾向に対し、議論された。また、両学会の違いの分析、および絶対数を加算した物理分野全体の状況を調べ、再来年の APPC 13 で発表するとよいのではないかという意見が出た。

なお、次回、野尻委員より改めて報告をいただくこととした。

#### 5) 責任者交代の件

覚書と内規の確認が行われた後、次期は、応用物理学会から責任者として増田委員、日本物理学会から板倉委員が副責任者として推薦され、それぞれ 11 月の理事会で承認を得て、12 月 1 日より責任者交代とすることが提案された。

以上